

議会だより だいせん 72号

2023年5月9日発行
鳥取県大山町議会



<https://www.daisen.jp/gikai/>



新年度予算と「町民の声」 5~7

11人が一般質問 16~21

議会だよりが全国6位を受賞 23

リニューアルした名和公園

誰もが暮らしやすいまちへ



制度見直し

脳ドック助成

対象年齢と助成金額が変更。
対象：50～51歳、60～61歳
助成金額

7千円 → 1万円

人間ドック助成

41歳以上の人の助成を増額する。

40歳：**3万5千円**

41歳以上：**2万円 → 3万円**

機構改革

総合戦略課を新設

アウトドアライフ構想を推進する。
また、観光課内にはDMO準備室を新設する。



新規事業

子育て支援さらに手厚く

● 新入学応援ギフト 842万円

小学校入学時3万円、中学校入学時4万円の
商工会商品券贈呈する。(6年度入学から)

● 制服購入費助成 732万円

(6、14ページ参照)

中山小および町内の中学校入学時の制服購入
の費用を助成する。(6年度入学から)

● 教材等購入費助成 2097万円

ドリルやプリントなど小中学校の教材費用や
校外活動費用に助成する。



令和5年度 一般会計

3月
定例会
ダイジェスト

112億円の大型予算



新規事業

加工設備導入 支援補助金

800万円

食品加工の起業・多角化に必要な設備の
導入に4/5補助する。(上限80万円)



新規事業

梨選果場出荷 体制応援事業

2111万円

ふるさと納税返礼品で需要の高い3kg
箱ラインの整備費用に補助する。

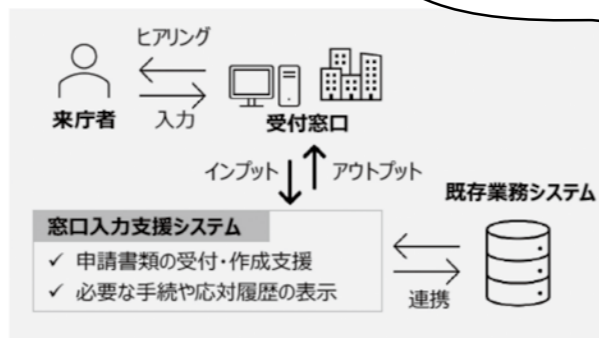


新規事業

スマート窓口の構築

2575万円

デジタル田園都市国家構
想推進交付金を活用し、
スマート窓口を設置する。
転入届や出生届などの手
続きの簡素化をはかる。



デジタルの力で、全国どこでも
誰もが便利で快適に暮らせる
社会をめざしているよ



3月定例会 チエツクします 議案の質疑・討論

3月の定例会では、新年度の予算を中心に審議しました。町民の皆さんの声とともに、議会の質疑内容の一部を紹介します。



まちの未来につながる予算に

予算のポイント

- 令和5年度の当初予算額:約112億円(前年度比で2.0%増加)
- 自主財源の規模:約33億円(全体の3割未満)
- 依存財源の規模:約79億円(主要なものとして、地方交付税が50億円)
- ふるさと納税による寄付金:約6億円(前年度比で52.2%増加し、新規事業の貴重な財源となる)



予算の詳細は「広報だいいせん5月号」をご覧ください。



デマンドバス

◎令和3年度との利用者数の増減は、利便性の改善策は計画されているか。(吉原議員)

▲利用者は令和3年度比で約7%減だ。使いにくさについて町民からの声があることは認識している。考え方や利用方法などの周知を引き続きしていく。

町民の声



使いやすい仕組みを

停留所まで100mほどですが、荷物がある時は大変です。数時間待つこともあります。

移住定住促進

◎倍増の予算となっているが、どのような事業を想定しているのか。(岡田議員)

▲町外からの移住者への新築の助成に加えて、町内在住の人が町内に住宅を新築する場合でも利用できるような補助制度にしていきたい。

町民の声



わかりやすい周知を

ホームページの情報がわかりにくいので、もっとシンプルでわかりやすくしてほしいです。

暮らし福祉



小型除雪機購入助成

◎補助率1/2、上限100万円では小さな集落は利用しにくいのでは。(近藤議員)

▲他の町村の支援策も参考にしながら、受益者負担と町負担バランスを考えて2分の1にした。宝くじ助成申請している自治会にアンケートをとったが、補助率3分の1でも活用検討したいとの意見であった。

町民の声



除雪作業が大変です

自宅周辺は町には除雪してもらえません。近所では高齢化が進み、除雪作業が大変です。

高齢者補聴器購入費助成

◎令和4年度の補聴器購入費補助金の交付実績の詳細は。(門脇議員)

▲令和4年度の予算は10件分で、実績は8件交付決定して支給済みだ。残り2件もすでに相談を受けており、令和4年度内に処理したい。

町民の声



ありがたい事業です

補助については知りませんでした。耳が遠くなってきた人には、とても助かる事業だと思います。

脳ドック受診助成

◎令和4年度の受診人数や補助額の実績はどうなっているか。(杉谷議員)

▲脳ドック受診人数は40件、助成金額は1件あたり7千円であった。新年度は1万円に増額する。脳疾患の発症数の多い50代60代の予防につなげたい。

町民の声



初めて受診しました

転倒したことがあり心配でしたが結果は大丈夫でした。脳の血管の様子もわかり安心しました。

新入学応援ギフト

◎商品券で入学用品を購入とあるが、どのようなものが対象となるか。(大森議員)

▲入学用品には、体操服、上靴、かばん、水着、運動靴、校内用履き、通学用リュックなどが含まれ、これらを町内事業所で購入することを想定している。

町民の声



すごくいいと思います
地域に子どもが減ってきているので、これをきっかけに親子での移住が増えれば嬉しいです。

子育て環境向上

◎放課後の子どもの体験事業の対象年齢や、実施する地域などの詳細は。(西本議員)

▲主に小中学生を対象にした、ものづくり教室や自然体験などを検討している。各地区の公民館や空き教室を活用し、民間事業者や地域団体と協力して進めたい。

町民の声



五感を刺激してほしい
せっかく自然に恵まれた環境なので、子どもたちには外で遊んで五感を刺激してほしいです。

制服購入助成

◎制服購入助成の割合や、新制服の検討状況など事業の詳細は。(大森議員)

▲令和6年度新入生への新制服導入に向けて、現在PTA代表や学校運営協議会メンバーなどで構成する制服検討委員会が、具体的な検討を進めている。

町民の声



制服変更ありきに疑問
ブレザーへの変更には賛成ですが、まず制服を変えたいかどうかから聞いて欲しかったです。

子育て教育



特色ある学校づくり

◎「特色ある学校づくり」予算について、どのような事業を考えているか。(杉谷議員)

▲学力向上の取り組み、地域交流、キャリア教育に関する講演会の実施、授業研究会への指導助言といったものに活用することで、教育内容の充実をはかる。

町民の声



その子に合ったやり方で
タブレットを積極的に活用するなどして、その子に合ったやり方で能力を伸ばしてほしいです。

通学合宿

◎中山小学校の通学合宿の実施場所が変更となっている理由は何か。(池田議員)

▲これまでは中山公民館で実施してきたが、ボランティアの協力者の高齢化なども考慮し、中山小学校の通学合宿は、大山青年の家での実施を予定している。

町民の声



貴重な体験の場
多くの子どもが安楽寺で座禅を体験してくれました。また今後も交流ができればよいと思います。

加工設備導入助成

◎どういう人を対象に、どのような目的で制度設計しているか。(近藤議員)

▲主に農業生産者や商工事業者が導入を検討できるようにした。食品加工に必要な厨房機器購入に対して令和5年度に限り上限100万円5分の4の補助をする。

町民の声



食を通じて町の良さを
大山には美味しいものがいっぱいあります。加工して町内外の人に食べてもらいたいです。

耕畜連携推進

◎堆肥センターの散布機が1台だけでは、希望時期も重なり、普及しないのでは。(小谷議員)

▲現状では1台でも対応可能だが、進入路が狭い農地用に小型散布機導入も検討している。今後、散布者と生産者と調整をはかりながら、体制を改善していきたい。

町民の声



ピンチをチャンスに
資材高騰で堆肥の活用が求められています。ピンチをチャンスに変え、地域農業に貢献したいです。

DMO設立準備

◎連携体制構築業務委託は、何を目的に、どのような業務を委託するのか。(小谷議員)

▲目的は観光地域づくりにおける官民の役割分担を明確化し、効率化をはかることだ。データ収集分析やマーケティング手法の確立を進めるための業務を委託する。

町民の声



ブランド化につながれば
町内で楽しめるアウトドアアクティビティのブランド化につながればいいと思います。

仕事づくり



大山町PR大使

◎PR大使のガンバレルーヤへの依頼内容について詳細を知りたい。(西本議員)

▲全国ネットのテレビ番組出演などで町のブランド化やふるさと納税、移住定住促進に貢献してもらいたい。学校のキャリア教育の場でも話をしてもらいたい。

町民の声



観光PRに期待
子ども達の集まりにもサプライズで来てもらいたいです。生「よしこ」にも会えたら嬉しいです。

リスキリング

◎具体的にはどのような学習内容を想定しているか。期待する成果は。(門脇議員)

▲町民を対象に、オンラインを活用したデータ分析、マーケティング、統計解析などの学習環境を用意する。転職や副業による収入アップにつなげてもらいたい。

町民の声



若者のスキルアップに
20代30代がスキルアップを考えるきっかけになると思うので、しっかりと周知してほしい。

一般会計予算 採決 討論



大山町議会3月定例会の最終日に行われた討論・採決では、一部の反対討論も出ましたが、賛成多数により一般会計予算案が可決しました。

反対討論

予算配分見直し求む

【近藤議員】 令和5年度の予算は112億円で過去最大規模だ。福祉や教育など必要な予算も含まれるが、農村集落の課題に十分対応していないと感じる。子育て世帯の経済的負担軽減策に約1億2千万円が割かれているが、これは国の施策でやるべきだ。予算配分としてもっと地域の課題へ予算を振り向けるべきだ。

同和対策予算に反対

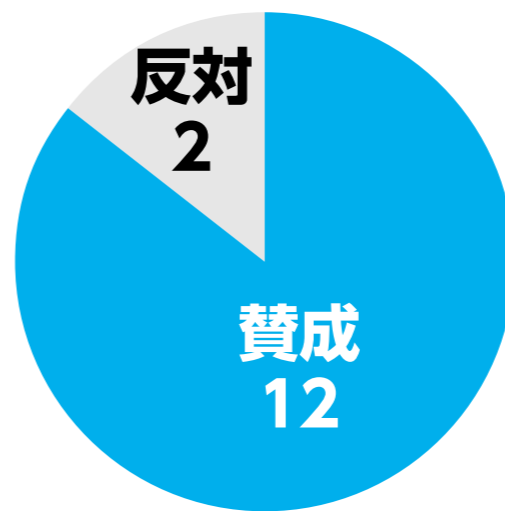
【大森議員】 本予算案には、新入学応援ギフト事業や教材費補助事業など、多くの子育て支援策が盛り込まれ高く評価できるが、同和関連予算が続くことから賛成できない。同和問題は基本的に解決済みで、特別対策を終了し一般施策の中で解決すべきだ。同和対策事業を終了することが、問題の完全解決への早道だと考える。

賛成討論

同和対策は必要だ

【岡田議員】 予算案は大山町発展のための重要な施策が盛り込まれており、賛成すべきだ。特に人口減少対策として子育て教育の施策が充実している。新入学応援ギフトや教材費助成金など子育て支援に力を入れている点も高く評価する。一方で、差別問題が未解決であり、憲法に照らしても、町は同和対策に取り組む義務がある。

採決結果



大山寺の土地建物を購入

空き家(大山寺博労座前)を購入、解体して、観光客誘致をはかる施設を建設する。

【門脇議員】 どのような目的や基準で取得を決定したのか。

【企画課長】 観光客の誘致などをはかる、新たな施設として町で対応すべきという認識である。

【大森議員】 どのような施設で、いつごろ竣工の予定か。

【企画課長】 アウトドアライフ構想の達成に必要な集客施設で、2階建てを予定している。令和6年から7年に完成予定である。



博労座前の賑わいを

その他の議案

ふれあい倶楽部上屋付多目的広場トイレ改修工事

配管状況を調査した結果、さらに工事が必要となつた。



早期の完成が望まれるトイレ

【岡田議員】 増額の理由は、【地籍調査課長】 浄化槽自体を、より深く設置する必要があるが生じたため。また既存の成捨て場を撤去し、再設置する。

上下水道料金等審議会

令和5年度に料金改定に向けた審議会を開催する。審議会では、老朽化した水道設備の更新や、また人口減少による給水量の減少も見すえ、今後の適正な料金が検討される。

【門脇議員】 審議会の委員として委嘱される民間農業団体、女性団体などを想定している。

大山町の水道料金

※開拓専用水道の区域を除く

基本料金 880円
(13mm口径、使用水量8m³まで、月額)

超過料金1m³あたり 154円

5人家族で月に28m³使用すると

3,960円

みなさんからの請願・陳情はこうなりました

3月定例会で審査した請願・陳情の結果を報告します。

題名	提出者	付託した委員会の意見・結果	本会議採決結果
「安保関連3文書」閣議決定の撤回、「敵基地攻撃能力」の保有や防衛費2倍化に反対する意見書の提出を求める陳情書	鳥取市末広温泉町 憲法改悪反対鳥取県共同センター 代表 田中 暁	戦争には反対だが、ウクライナや日本周辺の国情を見ると危険性は高まっていると考える。敵基地攻撃能力をはじめとする防衛力の整備と予算措置は、防災的な対応だ。採決の結果、採択1、不採択3で、不採択とすべきものと決した。	不採択
平和、いのち、くらしを壊す、大軍拡 増税に反対する陳情	大山町茶畑 安保法制いけん!廃止を求める大山町民の会 共同代表 渡辺 大修 他3名	戦争には反対だが、ウクライナや日本周辺の国情を見ると危険性は高まっていると考える。敵基地攻撃能力をはじめとする防衛力の整備と予算措置は、防災的な対応だ。増税については、政府は圧縮に努めている。採決の結果、採択1、不採択3で、不採択とすべきものと決した。	不採択
国による学校給食無償化を求める陳情	鳥取市西品治 新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子	本町では給食費無償化を先駆けて実践しており、本請願についても採択するべきではないか。採決の結果、全会一致で採択すべきものと決した。	採択 意見書提出 次ページ
政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める陳情書	南部町天萬 鳥取農民運動連合会 会長 雑賀 俊之	原油、飼料、肥料など生産資材の高騰の影響を受け、倒産や離農が全国で発生しているが、国へ求める陳情項目は国策や既の実施している事業もあり、見直しなどは困難である。採決の結果、採択1、不採択3で不採択とすべきものと決した。	不採択 ※部分的に 願意をくみ、 意見書提出 次ページ

●継続審議となっていました「農産物加工所の活用と整備を求める請願書」は取り下げされました。

議員提出の意見書は否決に

コロナワクチン接種で

議員提出の意見書は否決に

賛成討論

西本議員

コロナが5類になるタイミングで、今後のパンデミックに備え、ワクチン接種事業の総括をしていくべき。

反対討論

大杖議員

町内で発生した事案ではなく、一個人の考えを対象にすべきでない。

提出者は、問題を重視するならば、直接国を相手に告訴したらよい。

豊哲也議員、西本憲人議員から提出された議案「新型コロナウイルス接種に関する効果の検証を求め、賛成少数で否決となりました。ワクチン接種のメリット・デメリットの検証や、接種により健康被害を受けた事案の救済を求める内容でしたが、賛成5人、反対9人でした。

国へ提出する意見書

題名	意見書の要旨	提出先
学校給食無償化を国に求める意見書	日本の将来にとって、子どもを産み育てる環境を整備し、義務教育の期間に係る負担の軽減は喫緊の課題である。 学校給食は食教育の「生きた教材・食の教科書」として、学校教育法でも教育活動の一環に位置付けられている。 公教育の機会均等の立場からも、すべての小・中学校で学校給食を実施し、給食費を無料にすることが求められている。 よって、国においては学校給食費の無償化を実現するよう強く求める。	内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣 衆議院議長 参議院議長
農林水産業の継続と発展を求める意見書	燃料、電気、飼料、肥料、生産資材などの価格高騰が、本町の基幹産業である農林水産業に暗い影を落としている。 食糧自給率を向上させるため、農家をはじめ一次産業全般への支援と実効ある施策が求められることから、緊急に下記の項目を強く求める。 1. 燃料、電気、飼料、肥料、生産資材などの価格高騰対策のさらなる充実と継続を求める。 2. 青色申告者増による、収入保険加入者増を、国をあげて推進すること。 3. 飼料、肥料など国産化比率を向上させる耕畜連携や有機農業を推進すること。 4. 農林水産業の後継者対策の充実と継続や、移住定住対策とのさらなる連携を求める。 5. 農林水産業者の所得向上を推進すること。 6. スマート農林水産業のさらなる推進をすること。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 農林水産大臣 経済産業大臣

3月定例会

常任委員会 の活動

総務 常任委員会

地方交付税

Q 令和5年度予算の中で、地方交付税が占める割合は。
 A 112億の歳入のうち、普通交付税47億で特別交付税を合わせると50億となり44.5%を占める。

財務課

マイナンバーカード

Q 今後のマイナンバーカード申請や今後の用途は。
 A カードの発行は続くが、マイナポイント申し込みのカード申請は2023年2月末で終了した。2024年秋頃には、保険証がマイナンバーカードと一体となる予定である。

総務課

だいせんファンクラブ

Q だいせんファンクラブ事業の交流会は今後実施するのか。
 A 令和5年度以降の実施はしない。参加希望の人には県が行う交流会の案内をしていく。

企画課

アウトドアライフ構想物件の視察



大山博労座前

3月6日、7日、8日、10日の4日間、所管する各課から事業の説明を受け、審査した。8日には町内視察、陳情審査を行った。
 町内視察ではアウトドアライフ構想で使用予定の町取得物件の現状視察、上市水路改修工事を確認した。
 そのほか、解体後の状況確認のため旧光徳小学校跡地などを視察した。

電動キックボード

Q 特定小型原動機付自転車標識作成業務委託の内容は。
 A 日本全国で電動キックボードもナンバープレート(標識)が設置義務となり課税される。それにともない、金型作成の外部委託を行う。

税務課

デマンドバス

Q デマンドバスの利用状況や使いやすいとするための検討は。
 A 乗車実績は令和3年度と比べて約7%の減で、タクシー助成利用者は増加している。今後、アンケートをとることを考えている。

企画課

大山町消防団

Q 消防団員のなり手が減っている。補充はできているか。
 A 分団が10人以下になり、消防活動などができない状況なら問題だが、今はそこまでではない。消防団に興味があれば町内勤務者にも、加入してもらいたい。

総務課

一目でわかる 審議結果

1月臨時会
3月定例会
提出議案

○主な議案 (賛否の分かれた議案など)

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	氏名	小谷英介	西本憲人	豊哲也	島田一恵	池田幸恵	門脇輝明	大原広巳	大杖正彦	大森正治	杉谷洋一	近藤大介	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	結果	
条例の制定																	
大山町上下水道料金等審議会設置条例の制定 上下水道料金等に関する調査・審議について 規定を整備するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決 (賛成13人)
財産の取得																	
財産の取得(大山町大山 土地及び建物) 観光客を誘致する新たな施設を計画		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決 (賛成13人)
令和5年度大山町歳入歳出予算																	
一般会計予算 112億2000万円(前年度比2.0%増) 梨選果場・スマート窓口の構築・制服購入費の助成など		○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	可決 (賛成12人)
国民健康保険診療所特別会計予算 3億3987万円(前年度比5.2%増) 電子カルテ導入を予定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決 (賛成13人)
陳情																	
「安保関連3文書」閣議決定の撤回、「敵基地攻撃能力」の保有や防衛費2倍化に反対する意見書の提出を求める陳情書 総務常任委員会に審査を付託		×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択 (賛成1人)
政府に食料自給率の向上、持続可能な農業経営と農村を守ることを求める陳情書 経済建設常任委員会に審査を付託		○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択 (賛成4人)
平和、いのち、くらしを壊す、大軍拡増税に反対する陳情 総務常任委員会に審査を付託		×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	不採択 (賛成1人)
発議案 ※発議案とは…議員または委員会が、条例の改正、意見書の提出などを議会に提出した議案。																	
大山町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例 議会改革調査特別委員会で作成 具体的な措置内容を明記		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (全会一致)
農林水産業の継続と発展を求める意見書の提出 陳情審査を経て経済建設常任委員会から発議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (全会一致)
新型コロナワクチン接種に関して効果の検証を求める意見書の提出 議員発議による意見書の提出議案		×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	否決 (賛成5人)

○その他の全会一致で可決した議案

1月臨時会……財産取得(1件)、補正予算(2件)
 3月定例会……損害賠償(1件)、請負契約(1件)、令和4年度補正予算(15件)、条例(12件)、財産譲渡(1件)、町道認定(3件)、町道廃止(2件)、計画(2件)、令和5年度予算(12件)、人事(4件)、陳情(1件)、発議(4件)、専決処分(1件)
 審議結果は、米本議長を除く14人で行います。



審議結果はこちら

大山町議会では、常任委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

経済建設 常任委員会

宅地造成事業

Q ナスパルタウンが完売したが、今後の宅地造成予定は。

A 令和5年度は、中山地区で新たに候補地を選定し地権者と交渉していきたい。

建設課

大山口の観光看板

Q 大山口駅に設置予定の観光案内看板の詳細は。

A 大きさは100×135cmである。掲載内容は観光協会大山支部と協議をしながら決めていく。設置は駅舎内の壁面を予定している。

観光課

中山のトイレ改修

Q ふれあい倶楽部上屋付多目的広場トイレ改修費の増額理由と工事完了時期は。

A 浄化槽をかさ上げタイプに変更する。また設備機器・配管の値上げのため。完成は6月頃の予定である。

地籍調査課

中山インター線工事の進ちょく状況を視察



国道9号線沿いの赤坂地内

3月6日、7日、8日の3日間、所管する各課から事業の説明を受け審査した。9日には請願陳情審査と町内視察を行った。

町内視察先は、令和3年度からの実証実験事業として汗入農免道路の法面害獣崩壊防止柵、県代行事業の橋脚工事が進む中山インター線の工事現場、令和5年度に改良予定の上万村内線・安原淀江線の現地視察をした。

農業標準労働賃金

Q 令和5年4月から引き上げとのことだが詳細は。

A 令和4年度は米価の下落もあり引き上げを見送った。最低賃金の見直しもあり、令和4年度の価格から1.06倍の価格とした。

農業委員会

伐木チャンピオンシップ

Q 令和5年10月28・29日に榎原駐車場で開催される大会の詳細は。

A 林業の新しい魅力発信や社会的な認知向上をはかる。担い手育成をめざすスポーツ感あふれる競技形式の大会である。

農林水産課

漏水探知機

Q 漏水探知機の活用方法は。

A 職員が漏水の疑いのある配管に機器をセットし、漏水箇所を特定する。漏水が特定できた場所は順次修繕を行う。

水道課

教育民生 常任委員会

英語教育

Q 英語活用のための学習推進事業の概要は。

A 英検の受験料助成や、英語学習の必要性を知ってもらうための講演会などを行う。

社会教育課

サードプレイス

Q 子育て環境向上プロジェクト事業の概要は。

A 子どものサードプレイス(学校、家庭以外の第3の居場所)となるような事業を、民間事業者や地域の人と協力し取り組む。

こども課

新たな制服

Q 中学校の制服はどうなるか。

A 性の多様性に配慮し、令和6年度新入生からブレザーへの変更を検討している。購入費用は助成される。

幼児・学校教育課

雨漏り状況を確認



大山農村環境改善センター

3月6日から8日までの3日間、所管する各課から事業の説明を受け審査した。9日には町内視察、陳情審査を行った。

町内視察では、大山小学校体育館外壁などの改修状況、大山農村環境改善センター体育館の雨漏りの状況、赤松体育館の管理状況などを確認した。

物価高騰対策

Q 低所得者への追加支援は検討しているか。

A 4回目の光熱費助成を行う。住民税非課税世帯が対象で、対象世帯には6月頃に申請書類を送付する予定である。

福祉介護課

災害廃棄物

Q 災害廃棄物処理計画の目的は。

A 大規模災害時に発生する多量の廃棄物を、適正かつ迅速に処理するため。国のモデル事業を活用し策定した。

住民課

健康寿命

Q 健康寿命を延ばすための取り組みは。

A 脳卒中の多い地区で、自主組織や集落と連携し、健診の受診勧奨や、出張ヘルスアップセミナーなどを行う。

健康対策課

11人が町長・教育長に一般質問を行いました。

一般質問

◆一般質問とは
議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



お持ちのスマホやタブレットから、QRコードを読み込むと、各議員の質問をYouTube動画でご視聴いただけます。議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。

ページ	質問事項	質問議員
16	1. 5類移行後のコロナ対応は	杉谷 洋一
17	1. 二地域就学の制度導入を 2. 国体スキー大会招致の取り組みを	大杖 正彦
	1. 町有施設のバリアフリー化について 2. 奨学金返還支援制度の拡充について	門脇 輝明
18	1. 過去に提言した内容の進捗状況は	西本 憲人
	1. 健康寿命を伸ばす取り組みは	吉原美智恵
19	1. 名和公園の今後の活用について	島田 一恵
	1. 大山町の商工の取り組みについて 2. 新型コロナウイルスへの対応について	豊 哲也
20	1. DMO(観光地域づくり法人)準備室の設立にあたり、町長が理想とする「観光地経営」の在り方について	小谷 英介
	1. 大山町の人材育成について 2. 住民参画と協働のまちづくりについて	近藤 大介
21	1. 山陰道淀江インター跡地活用事業について 2. 酪農家支援はこれで十分か	大原 広巳
	1. 弱者対策と町民にやさしい町づくりを	野口 俊明

二地域就学の取り組みを

教育長 導入の可能性を検討したい

【大杖】都市部の子どもが地方の学校へ行き来しながら通う二地域就学が注目されている。子どもは健やかな成長と地方との「関係人口」の創出や移住につながるが、導入の考えは、【教育長】他地域の子どもと触れ合うことで、新たな人間関係と学校が活性化するなどメリットがあり、有効な取り組みと考える。教科書などクリアすべき課題があるが検討したい。

【大杖】移住を前提に考える保護者もいる。教育面だけでなく本町には、季節を問わず移住



美しい景色と自然に恵れた学校



おおつえまさひこ 大杖正彦 議員



先の魅力があると思う。町長の考えは、【町長】二地域就学は確かに移住定住やワーケーションの促進になるが、子どもが受ける教育やその周りの義務教育の環境が一番の判断すべきポイントだと思ふ。

このほか、国体スキー大会の招致について質問しました。町長答弁は、大会中、滑走コースの制限などで一般客の流出につながりかねないが、地元やスキー場関係者、議会の意向に沿って進めたいとのことでした。

5類移行後の新型コロナ対策は

町長 行動制限は自主的な対応に

【杉谷】高齢者や基礎疾患などがあり、重症化リスクの高い人が集まる場所への対策は、【町長】多く集まる場所では、引き続きマスクの着用を推奨する。【杉谷】外出規制があったコロナ患者や濃厚接触者などの対応と季節性インフルエンザとの同時流行の対策は、【町長】行動制限は自主的な対応となり、同時流行の時には、従来と同様な対策を行う。【杉谷】当面、コロナワクチンの接種費用は公費負担となるが、廃止後の町の助成などは、【町長】令和5年度は自

己負担がなく実施の予定である。それ以降は国の方針の決定を待つて、助成などを検討する。【杉谷】コロナ禍で子どもたちの精神・身体的な疲労により、学びへの意欲低下が教育格差に表れ、さらにマスク着用で相手の表情が見

えなく、主体的な自己教育力が低下し、生きる力への健全な成長が危惧されている。今後の学校教育は、【教育長】生きる力を育むため、ふるさとキャリア教育などを重点的に取り組む。



ワクチン接種で安心生活



すぎたによしお 杉谷洋一 議員



ハートフル 駐車場至上屋を

町長 現状は車寄せでの乗降を

【門脇】車椅子使用者にとって、降雨・降雪時の自家用車からの乗降や屋内までの移動は、苦勞する。かつて、本庁舎のハートフル駐車場にあった上屋が撤去された。体の不自由な人の利用が多いと思われる診療所、役場本庁舎や支所などに、誰でも安心して訪れることができるよう、ハートフル駐車場と通路に上屋の設置はできないか。【町長】雨具の使用が困難である場合、または時間がかかる場合、本庁舎では、車寄せを利用し、他の施設ではで

きる限り玄関近くでの駐車・乗降が可能だ。【門脇】上屋撤去の理由は、【町長】上屋から本庁舎までは屋根がないので、車寄せでの乗降が利用者にとって、メリットがあると判断した。

このほか、奨学金返還支援の拡充について、20歳代の転出入の差が突出して大きいことを挙げ、考えをいただきました。町長は将来財源の明確化を含め、拡充も検討したいと答え



上屋がなくて良いのか



かどわてるあき 門脇輝明 議員



動画はQRコードからどうぞ

自主組織の

財源確保の必要性は

町長 収益事業は財源確保が基本である



【西本】議員2年の節目に、過去に行った質問の再確認をする。

自主組織の方向性と自主財源確保の必要性は。

【町長】行政で対応しにくい細やかな住民サービス、集落単位で対応できない課題を扱うのが役割である。

公的事业は補助金などで、収益的な事業は自主財源で賄ってもらうのが基本である。

【西本】自主財源確保は必須とされている人もいるので、現時点での方向性を資料で示さないか。

【町長】資料なりを準備

して周知したい。

【西本】町の計画には法令的に策定が必須なものの、国からの交付金獲得や町長が行いたいビジョン的なものと種類がある。

【町長】あくまでも財源



賑わい生む 自主組織の活動

を国から確保するためにつくっている。

一般的には目標を定めて向かっていくのだが、目標に引っ張られすぎず、事業の積み上げをしていくことが、共感を生むポイントだと思っている。

健康寿命を

伸ばす取り組みは

町長 さまざまな取り組みを検討する



【吉原】世界最速級で高齢化が進む日本の現状は、本町も例外ではなく、健康寿命を伸ばす取り組みは待ったなしとなっている。

【町長】見守りの目を増やすため、有意義であり、自主組織でも講座を行ってほしい。

【吉原】民生委員さんの活動はボランティアで成り手不足が問題だが

【町長】保健教育に加え保健事業と介護予防の一体的事業に取り組みたい。



お元気なご長寿さんたち

対策は。

【町長】全国の事例を参考にして検討する。

【吉原】生きがいと健康維持につながる生涯教育の取り組みは。

【教育長】特色ある公民館活動や各種スポーツ大会などがある。

名所を観光化する

取り組みは

町長 仕組みづくりに取り組みたい



【島田】公園内で直火ではなく、カセットコンロなどの使用は禁止なのか。

【町長】条例では細かく決めていない。

【島田】町内の案内看板にQRコードを貼り付け、観光案内へつなげるのは。

【町長】デジタルでホームページ上の情報とリンクさせる仕掛けであったり、必要に応じて対応したい。

【島田】本町にある名所を観光を通じて地域



広い海が見える名和公園

の文化や伝統を活用し、経済の活性化をめざす取り組みは。

【町長】マップを作れば人は回ってくれるという今までの取り組みもよくないと思っており、勝手に回って下さいではなくツアーとしてお金をいただきしっかり説

明をして、食事やお買物とつなぎ地域がもうかり潤う仕組みづくりを、民間企業者と一緒に取り組んでいきたい。

海側や大山も含む広域観光として隠岐の島とのツアーも検討する。

食品加工所の

必要性は

町長 重要だと考えている



【豊】農作物の6次化は非常に重要である。食品加工所の必要性をどう考えているか。

【町長】農作物の6次産業化は、地域資源の付加価値向上のために重要であると考えており、食品加工に関する設備導入支援を令和5年度実施予定としている。

【豊】大山観光に向け新たなDMO発足の動きがあるが、観光とは本来、町民のために行われるべきもので、町民の意見を吸い上げ、町民が観光を生業にし

食品加工所については、さまざまな課題を整理する必要がある。



加工所での新商品の可能性

ていけるような指標になっているか。

このほか、新型コロナナワフチンの相談件数を把握していないと問題点の分析ができないのではとの問いに対し、相談が多岐に渡るため相談件数を把握できていないとの答弁がありました。

観光課を

なくしてはどうか

町長 未知数なところもあるが実現可能だ



こたにえいすけ 小谷英介 議員

【小谷】本町の観光行政や大山ブランドを担う法人（以下、DMO）を新設する場合、観光課を廃止し、DMOに予算の権限と事業執行の責任を集約すべきだ。

【町長】観光課が完全になくなるかは未知数だが、観光課と大山観光局を一体化し、公益事業を外部で担う仕組みは実現可能だ。

【小谷】DMOの人材確保はどうするのか。

【町長】リーダーシップを持つ人材の確保が最も重要であり、大変だ。地域内外から探すことを考えている。

【小谷】DMOの財源はどうするのか。

【町長】基本的にはDMOが担う公益的な部分に対して税金を財源として考えている。ただし、税金だけで運営するのではなく、自主財源の確保も求めていくつもりだ。

【小谷】人材と資金を確保するためにも、「大山恵みの里構想」の視点で、大山観光局と恵みの里公社の統合を検討すべきではないか。

【町長】統合するメリットはある。現場の気持ちも考慮して検討していく予定だ。



大山ブランドをどう育てる

人材育成に

基金の活用は

町長 社会教育で支援したい



こんどうだいすけ 近藤大介 議員

【近藤】次世代の育成は地域の最も重要なテーマの一つである。竹口町政6年間の人材育成（学校教育を除く）の成果や課題は。

【町長】若者世代への取り組みは、大山町青年団の活動支援や、テゴテゴプロジェクトによる仲間づくり・大人と若年層の関係づくりなどである。

【近藤】高校年代への働きかけが課題である。

【近藤】地域を守るために、さまざまな場面で青年層の活発な活動を促していく必要がある。人材育成を目的に、1億円の基金を確保し、

ふるさと納税も活用しながら、まちづくりに寄与する青年層の活動を支援する取り組みをしてはどうか。

【町長】基金は考えていない。今後、青年層の社会教育活動を支援する講座の取り組みなどを支援していきたい。

このほか、住民参画・協働のまちづくりについて質問しました。

自治会や地域自主組織の活動を支援しているとの答弁でしたが、これらに限らず、各種団体との協働を提案しました。



コロナ禍で多くの活動が停滞

さらなる酪農支援を

町長 県とも連携して大きく



おおはらひろみ 大原広巳 議員

【大原】長期化する生産資材の高騰で、一次産業が苦しんでいる。なかでも、酪農業では、飼料価格が2倍以上がり、苦しい経営となっている。

【町長】酪農組合の要望を受け、町独自に自給飼料生産支援として種子代助成を計画している。

また、令和5年度も予算措置を考えている。

【大原】生乳1kg当たり、約30円の赤字が出ている。昨秋10円ほど乳価が上がったが、今春の交渉では、10円余りの値上げが、精一杯のギリギリのラインを聞へ。

町が基金を立ち上げて、運転資金を補助できないか。

【町長】県内の乳業メーカーと相談してみたが、単町ではむずかしいと回答があった。

今後、産地全体で検討を求めていく。

このほか、山陰道淀江インター跡地活用事業で、審議会の進捗状況を聞いた。

観光・防災・公園など、今後可能性を検討していくとの答弁であった。



頑張る酪農家の応援を

危険な通学路に

町長 関係課に情報提供し対応している



のくちとしあき 野口俊明 議員

【野口】国道・県道・河川管理道・町道などの路面管理と除草について、反省点と令和5年度の対応策は。

【町長】国土交通省と鳥取県に対して、早期の対応について要請を行った。

【野口】通学路を自転車で行っている生徒が、道路に出ている枝を潜って走っている危険な状況があった。どう捉えているか。

【教育長】教育委員会として関係課に、情報提供し、また関係課からは、県などにも対応を要請している。

【野口】除雪についても、反省点と令和5年度の対応策は。

【町長】例年より重い雪のため、対応が遅れた地域が一部ある。

令和4年度に新たな車両を導入するなど、除雪体制は拡充している。

【野口】公共交通について、このままでいいのか。改善策について、何か考えがあるのか。

【町長】使い方が分かりにくいという意見があり、広報などで利用方法の周知をはかっています。あわせて、令和5年度に抜本的な見直しの検討に着手したい。



通学路の安全対策を

動画はQRコードからどうぞ

1月臨時会

(令和5年1月20日)

補正予算などの3議案を可決した。

大山町PR大使

【大森議員】PR大使就任のガンバレルーヤの仕事内容は、

【町長】PR大使就任を地元で認識してもらうための広告事業をしていく。

各種PR、啓発のための肖像権の契約方法などの詳細もこれからである。まずは、啓発に関する肖像確保のための予算である。

放送予定はまだ未定だが、「冠ルーヤ」という番組の負担金として予定している。

例えばPRグッズを作るとか、ポスターを作るなどのいろいろなアイデアがあるが、写真撮影や動画撮影など活動準備の予算である。



大山町出身のまひるさん(右)

コラム

議員の仕事ってなにしてるだ?

Q 議会だよりは議員が作っているって本当? どうやって作っているの?

A 議員が手分けして作っています。

自分達で記事を書き、構成からレイアウトまで考えて住民目線を心がけて作成しています。

議会だよりだいせん第69号

全国第6位・鳥取県第1位に輝く

町議会広報誌「議会だよりだいせん第69号」(令和4年6月定例会)が、全国町村議会議長会主催の第37回広報コンクールにおいて、優良賞(全国6位)を受賞しました。

また、鳥取県町村議会議長会主催の第40回鳥取県町村議会広報コンクールにおいて最優秀賞(県内1位)を受賞しました。



さらなる高みをめざします



記事作成のためのヒアリング

2023年 議会広報クリニック(研修)での専門家からの意見

【総評・特徴・改善点】

◎町の重要課題での特集や議員間の「討論会」を経ての提案、「議員と語る会」での要望を共有と調査報告など、定例会報告以外の企画と情報提供も多彩で充実した議会だよりへの進化があります。

◎的確な見出しなど編集技術の水準は高いものがあります。

お知らせ News

議会改革の中間報告

第5次となる議会改革調査特別委員会は、令和4年6月21日に設置して以来、計8回の委員会を開催してきました。

町民目線で時代にあった議会運営をめざし、協議・検討を重ね4月の常任委員会構成の変更を機会として、今後必要な条例改正などに向けて中間報告をしました。

1、政治倫理条例・規則の見直し

政治倫理条例見直しの必要性は、現状では倫理違反と判断があった際、明確な措置内容が定まっていなかったため、早急に取り扱うこととしたものである。

2、常任委員会の2委員会化について

現在は広報常任委員会を除く総務・教育民生・経済建設の3常任委員会であり、委員会定数は5、6人で審査をしている。

上記3常任委員会では、少ない人数で委員会審査をすることとなり、欠席者が出た際はさらに構成議員数が減少し意見に偏りが生じることが懸念されていた。

近隣市町村で本町議会だけが3委員会体制で行っていることや、委員会審査に適した人数の調査をしたことにより、3常任委員会から、2常任委員会に変更することとした。

3、今後について

今後は、新たに議員定数や報酬・政務活動費・議会モニター制度などの取り組みを調査し、円滑な議会運営、住民参画を進めていけるように議論していく予定である。



おさひろ 福留 統 (福尾)

人	口
の	増
減	が
を	決
め	る

先日、日本の年間新生児数が80万人を割り、トップニュースになりました。

少子高齢化が進み、政府の「異次元対策」が急がれるところです。

なぜ人口の増減が重要でしょうか？ 税金も交付税も人口で決まるか

らです。

大山町の人口の推移をみると、2005年の合併時には1万9523

人が今では、1万5282人、20歳から39歳までの女性人口は1925人

から昨年末で1057人、新生児は113人から69人へと減少していま

す。

2019年にはプラス32人の社会増を達成し、移住者も順調に増えて

いるにもかかわらずですが企業誘致は現地に人材がいいためダメ、若者

移住は全国の奪い合いの状態です。

この状況下での少子化対策は、本町で生まれている、これから生まれ

る子ども達への手厚い投資です。令和3年度、給食費を無料化、これは第一

歩です。大人になるまでの教育費・医療費の補助が続けられればと思います。



ひろこ 露木 浩子 (ナスパルタウン)

ふ	る	さ	と	に	あ	る
食	の	魅	力			

最近、鳥取の魅力について考える機会がありました。食に関わる仕事

柄特に食の魅力についてです。大山町の食の魅力はと考えると、海

の幸も山の幸もいろいろある、欲しくても手に入らない地域から見

たらうちやましいほどの魅力です。

しかし、わが子に町の特産品を尋ねても、ブロッコリーと梨の他はあまり

りピンとこない様子で、身近にありすぎて気づきにくいようです。これは

おいしい体験とともに繰り返し伝える

伝えなくては」と思いました。

子どもたちが大きくなったとき、ふるさとにはこんないいものがある

と自信を持って言えるように、また、幻の食となってしまうわめよう、地

球に優しく、生産に携わる方々が儲かる魅力的な職業であってほしいと

思います。



みきよ 富谷 美喜代 (みどり区)

ソ
リ
マ
チ

「ソリマチに行く」と聞いて、俳優の反町隆史しか思い浮かばなかったが、農業簿記ソフトの勉強会らしい。このソフトで申告する70代、自分で

計算して申告する80代。どちらも同年代と比べ頭も体もしっかりしてお

られる。一方では、ひとりで支払

がでぎなくなりそれに平行して体の動きも悪くなり、付き添いが必要に

なる方もおられる。この違いは日々の頭の訓練によるものなのか。

ピーという一言で支払いが完了す

るキャッシュレスの現代。確かに便利

であり、ポイントも貯まるので利用するが、その都度頭で計算する機会

を減らしているのは事実だ。財布から小銭を取り出すのも手のリハビリ

になる。貯まるはずのポイントがリハビリ代だと思ひ、歳を重ねたらア

ナログな部分を残すことも必要ではないのか。「ソリマチ」に端を発して

思いを巡らせてみた。

仁王堂公園からの桜大山

あとがき

3月議会が終わり令和5年度の予算が決まりました。

議員の仕事は何をしているかわかりづらく、普段の生活ではあまり政治の必要性も感じにくいと思いま

す。でも、私たちの生活は政治や議会から切り離された

ものではありません。当事者になって初めて、自分達の生活に関わる政治

について考えるようになるのではないかと思います。町が良くなるために、多くの人が政治や議会に関心

を持っていただき、一緒に活動していけると嬉しく思います。

西本

発行責任者 米本 隆記

広報常任委員会

委員長	池田 幸恵
副委員長	西本 広人
委員	大原 憲巳
委員	近藤 大介
委員	門脇 輝明
委員	島田 一恵
委員	哲也
委員	小谷 英介

